

## 企画書

事業名	世代間交流サロン「ヤシの実」
目的	<p>&lt;背景&gt;</p> <p>若い世代は、隣近所とのコミュニケーションを築くことに消極的です。そのためか子どもたちも地域の人へ信頼を寄せる心がなかなか芽生えません。ユニフォーム姿の大人にしかあいさつをしないなどに伺えます。</p> <p>いざ災害が起これば、隣近所の助け合いが大切であることを私たちは経験しました。それが一番の力になります。日頃から顔見知りになること、困った時差し伸べ合う多くの手があることが不可欠です。</p> <p>また、子育てに悩んだりするお母さんに、遠い昔子育てを終えた人たちの言葉も視点を変えてみるヒントになるのではないのでしょうか。</p> <p>慌ただしい日々の中にほんの僅かな時間でも、世代の違う人々が集い、繋がりを築いていくことが大切だと思います。</p> <p>若い世代にまず、一步踏み出していただくために「交流サロン」を設けます。このサロンでは、世代間交流を一番の目的としますが、熟年層の力を引き出し、伝える場、自分の新たな力を発見する場としても活かします。</p> <p>知りあえる場、絆を築く場を常設します。</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>若い世代に・・・</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・多くの知り合いや仲間をつくる(困った時に手を差し伸べる人)</li><li>・子どもを育てる知恵を得る</li><li>・孤立しない、社会参加の意識づくり</li><li>・子どもから離れる時間を過ごす</li></ul> <p>高齢者世代に・・・</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代とのふれあいから元気をいただく(アドバイスをすることにより)</li><li>・特技を活かす、発見する</li></ul> <p>共に</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・お茶を飲み、心が休まる時間を過ごす</li><li>・親しい仲間が増える</li><li>・新しい何かを知り、得ることができる</li><li>・社会参加</li></ul>

<事業内容>

- 交流サロンを設ける
- 名称・・・交流サロン 〈やしの実〉
- 対象区域・・・小さな地域に絞ると、ぐちが言いにくいなどの問題が生まれる  
どなたでも来たいときに来て下さい(参加自由)

■ 場所・・・「とっておきの広場」

■ 日時・・・(週1回) 約2時間程度

第1週(日)am10:00～ サロンの名前 [サンデーパパ&ママ] 父、母、子  
第2週(月)am10:00～ // [アンパンマンと仲間たち] 幼児、母  
第3週(火)pm1:00～ // [お菓子の家] 高学年の子をもつ母  
第4週(水)pm1:00～ // [ヒミツの鏡] // と幼児、母

事業内容

■ その他

- ・ 週別、対象別の企画内容

第1週 お料理教室、木工教室、茶道、その他パパとママの腕の見せ所

第2週 紙芝居、読み聞かせ、ぬり絵、折り紙など幼児の好きな事

第3週 デザートやお菓子づくり、アートフラワーなどママの時間

第4週 さて何が出てくるのかな・・・童謡を歌おうか・・・自由な発想で

- ・ 基本的な考え方は参加自由で参加者の会員登録又は事前申し込み受け付けなどはしません。お料理など人数の把握を必要とするものに限りは申し込みがあれば準備するが、申し込みが無い人も参加できるように進める費用はすべて参加者の実費とする
- ・ 活動メニューはその都度参加者皆さんとスタッフの意見、要望により決めて行く
- ・ 実施活動メニューは翌月までの分を公表する
- ・ 多くの方に周知するために広報手段として町の広報紙や駅、学校、学習センター、図書館、ゆるぷらなどへ掲示板設置をお願いする

■ 世代間交流を図ることを第1の目的として活動を進めるなかで、助け合いやお互いの理解を深めていきます  
活動する過程の中で、町や社会の一員であることの意識が育つ事を期待します

■ 活動を進めるなかで「とっておきの広場」活動やメンバーとの連携も築いて行く

■ 営利を求めることはありません

<p>実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表者を決める</li> <li>2. 事務局、会計を各1名置く</li> <li>3. 核になる会員を募る・・・個人の負担を軽くしていく 各自出来る範囲で1回5人は必要とし最低20人からのスタート</li> <li>4. 核になるのは高齢者チームが主体とする(比較的時間にゆとりがある)</li> <li>5. 賛助会員の募集 資金の提供 参加は自由 (1口 1000円)</li> <li>6. 参加者はその都度茶代、保険代として親子で300円</li> <li>7. 後援・・・柴田町・教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町 会場借用、広報手段、情報提供など</li> <li>・教育委員会 小中学校の理解と協力</li> <li>・行政区、子育て支援、幼稚園、保育所、児童館の協力と理解</li> </ul> </li> </ol> <p>始まりは核になるメンバーで実施していく 若い世代もサロンを運営する仲間として育てていく</p>
<p>スケジュール</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会則の作成</li> <li>2. チラシポスター作成・・・目的、サロンの体制や方向性を分かりやすく伝える(自分たちで作成する)</li> <li>3. 会員募集・・・各団体への声掛け、お知らせ版掲載など(口コミ中心に)</li> <li>4. 会場使用許可申請</li> <li>5. 各所への説明</li> <li>6. 賛助会員の募集</li> <li>7. タイムスケジュール、役割、当番表、月別メニューの作成</li> <li>8. お手伝いの依頼書作成と配布・・・ジュニアリーダー、仙台大学陸レーション部、中学、高校、など</li> <li>9. サロン会場準備</li> <li>10. その他・・・機材、道具など必要のあるものを借用依頼</li> </ol>

## 収支予算

収入			
科目	詳細	金額	備考
会費 正 賛助	2,000×5 1,000×20	30,000	正会員会費 2,000 円 賛助会費 一口 1,000 円
収益合計		30,000	
支出			
科目	詳細	金額	備考
印刷費	チラシ 200 枚 ポスター 30 枚	350 1,500	
会場費	灯油代 180×2	3,500	ポリ缶 2 本
会議費	茶代	1,500	
ボランティア保険	20×300	6,000	1 年分
その他の経費	事務用品 子どもたちの遊び用品(折り紙) 他	17,150	
経費合計		30,000	
収支差額		0	